

公益社団法人 **長野県林業公社「第2次経営改革プラン」**

令和5年度の実施状況

(令和6年3月31日現在)

I 森林整備の推進による森林資源の充実と実行体制の強化

1 公社契約地森林資源の適切な評価と森林整備目標

【計画】 施業地カルテの内容を補完する現地調査を実施し、契約地の適切な現状把握により「山づくりの目標」を定め、適切な森林整備と主伐への準備を進めていきます。

【実績】 カルテ補完調査実施計画及び実績 (単位：団地)

	R3	R4	R5	R6	R7	合計
計画	50	50	50	50	50	250
実績	17	51	29			97

・現地調査により評価調書を作成しました。事業計画やJ-クレジットのモニタリング等により現地調査を行った24団地については、令和6年度に評価調書を作成します。

【方針】 引き続き、現地調査により森林整備目標を定めていきます。

2 森林整備の推進による森林資源の充実

3 コストをかけない路網維持と技術力向上

【計画】 必要な施業を効率的、効果的に実施します。また、計画的・低コストな路網の整備・維持管理と、職員の路網整備技術の向上を進めます。

【実績】 間伐・獣害防除・作業道開設等実施計画及び実績

		R3	R4	R5	R6	R7	合計
保育間伐 (ha)	計 画	245	220	180	140	100	885
	実 績	180	108	151			439
搬出間伐 (ha)	計 画	13	30	50	50	50	193
	実 績	6	19	7			32
獣害防除 (ha)	計 画	184	160	130	100	70	644
	実 績	185	166	106			457
作業道開設 (m)	計 画	1,500	3,000	7,500	7,500	7,500	27,000
	実 績	573	2,105	1,010			3,688
作業道補修 (m)	計 画	4,000	4,500	5,000	5,000	5,000	23,500
	実 績	4,038	4,407	5,388			13,833

- ・保育間伐と獣害防除は、現場に通じる下方道路の通行止めや受注者の労務確保が困難な理由により5件が不執行となりました。また、事業地の実測等により実施面積が減少しました。
- ・搬出間伐は、事業者による企画提案で9件の参加申し込みがありましたが、応募が2件でした。
- ・作業道開設は、搬出間伐に附帯して計画していることから、搬出間伐の減少に伴い低い実績となりました。

【方針】 引き続き、早期発注に努めるとともに、企画提案型搬出間伐促進事業では公募箇所を増やす、公募期間を長くするなどの改善を行い事業の推進を図ります。

4 更新伐など主伐に向けた時期、方法の検討

【計画】 研究機関と連携するなど、更新方法について検討を進めます。

【実績】 県林務部職員による更新伐制度等の研修や、主伐を実施している先進県である宮城県、滋賀県、岡山県の林業公社で視察研修を行い、職員の知識向上に努めました。

【方針】 引き続き、主伐に向けた対応を検討するとともに、主伐後の再造林や森林管理の方法等についても検討してまいります。

5 ICT 技術を活用したスマート林業導入

【計画】 ドローンによる調査技術の活用や、新たな調査技術の導入・検討を進めます。

【実績】 ・ドローンを活用した現地調査（空撮）を含む受託事業を2件受注しました。
・航空レーザー測量のデータを利用して、林分の状況把握に活用しました。

【方針】 今後の社営林管理や受託事業等に活用するとともに、引き続き、最新の技術の収集・習得に努めます。

Ⅱ 受託事業の拡充による市町村等への支援と人材の育成

6 受託事業を通じた市町村等への支援

【計画】 公有林の調査・測量や森林経営管理制度に伴う意向調査等の受託を目指します。

【実績】 受託事業一覧

事業名	委託元	受託額 (円)
森林整備事業 更新一貫施業 調査・測量・設計・監理業務	佐久穂町	6,723,475
森林経営管理意向調査業務	8市町村	9,502,900
森林施業費用算出業務	御代田町	1,562,000
計	9市町村	17,788,375

- ・佐久穂町有林の森林整備事業に関する業務を引き続き受託しました。
- ・小諸市、軽井沢町、御代田町、立科町、坂城町、信濃町その他、新たに山形村、小川村の計8市町から、地区住民に対する「森林経営管理意向調査」を受託しました。
- ・御代田町から意向調査を全町で実施する場合の経費額算出を受託しました。

【方針】 引き続き公社の強みを生かした受託事業の確保に向け、県、市町村等に積極的に働きかけていきます。

7 主伐に向けた職員のスキルアップ、機材の充実

8 業務量に見合った職員配置

【計画】 各種研修の受講等を進め、職員のスキルアップに努めます。

【実績】・職員のスキルアップを目的に、森林作業道作設のOJT研修や、県森林組合連合会が運営する木材市場での木材流通に関する研修を実施しました。

- ・国や県等による研修などを計画的に受講しました。
- ・地域の業務量を勘案し、担当職員を配置しました。

【方針】・引き続き、国・県等の各種研修を積極的に受講します。

- ・業務量や業務内容に応じた職員配置に努めます。

Ⅲ コストの改善に向けた取組の着実な推進

9 長伐期化の推進（継続）

【計画】 従前から、良質な木材と材積量の増大に向けた長伐期化を進めており、変更を要する契約全ての期間延長を目指します。

全体計画

(単位:件)

項目	総数	変更済	変更残	R3~R7
長伐期化	1,191	1,172	18	18

【実績】

(単位:件)

	R3	R4	R5	R6	R7	計
変更契約数	1	1	1			3

- ・共有林での契約地において期間延長の変更契約を締結しました。
- ・契約満了日の近い2団地については、契約期間延長が困難なことから、契約解除に向けた取組みを進めています。

【方針】 契約満了日に近い団地から交渉を進めるとともに、長伐期化の適否についても団地ごとに検討を進めます。

10 分収割合の変更（継続）

【計画】 累積債務の軽減に向け、主伐等に係る分収割合を土地所有者 30/100・公社 70/100に見直す変更を進めており、契約者の皆様への十分な説明を行いながら、ご理解を得て変更を要する契約全ての分収割合の変更を目指します。

全体計画

（単位：件）

項目	総数	変更済	変更残	R3～R7
分収割合の変更	1,044	738	306	306

【実績】

（単位：件）

	R3	R4	R5	R6	R7	計
目標数	60	60	60	60	66	306
実績	54	33	42			129

- ・上伊那地域がほぼ終了し、新たに北安曇地域の所有者に対する交渉を始めました。
- ・共有林が多かったこと、契約者が死亡しており相続人の探索に時間を要したことなどから目標達成率は70%でした。

【方針】 令和6年度は引き続き北安曇地域を主体に取り組みます。

- ・森林組合等に協力をいただき契約者に関する情報を得ながら、契約相手方に対して丁寧な説明に努め、変更手続きを積極的に進めていきます。

11 経営不適地の取扱い

【計画】 バイオマス利用等の可能性があるため、契約解除対象地を精査します。

【実績】 社営林の評価調査に合わせ、経営不適地の精査を進めました（取組1参照）。

【方針】 引き続き、対象地の精査に向け、現地調査を進めていきます。

12 事務経費等の削減（継続）

【計画】 引き続き、日常的な経費削減の取組を継続します。

【実績】 令和5年度も通信運搬費や消耗品費などの事務経費の節減に努めました。

- ・ガソリン価格の高騰や職員研修により旅費交通費が増えたこと、車検等による修繕費を必要としたことから対前年14.1万円（0.5%）増加となりましたが、令和3年度から5年度の年平均値は、第1次改革プランの期間（7年間）の年平均値より約247万円（9%）減少しています。

【方針】 引き続き、経費削減に努めます。

IV ゼロカーボンの達成を目指した新たな体制整備

新

13 バイオマス燃料供給体制構築

【計画】 今まで評価の低かったアカマツ等の団地からバイオマス発電への供給を進めます。

【実績】 プラン期間中の目標及び実績

		R3	R4	R5	R6	R7	合計
搬出量 (t)	計 画	100	150	200	300	300	1,050
	実 績	35	0	0			35
利益 (千円)	計 画	200	300	400	600	600	2,100
	実 績	32	0	0			32

・低質材はチップ用材としての出荷で、バイオマス燃料用はありませんでした。

【方針】 企画提案型搬出間伐促進事業や県の未利用材等活用システム構築支援事業の活用などにより、バイオマス発電向けへの出材を進めます。

14 森林整備によるCO₂吸収量をJ-クレジットとして販売

【計画】 社営林の整備によるCO₂吸収量をカーボン・オフセットのJ-クレジットとして販売する取組を進めます。

【実績】 プラン期間中の目標及び実績

		R3	R4	R5	R6	R7	合計
CO ₂ 吸収量 (t)	計 画	プロジェクト の認証	600	600	600	600	2,400
	実 績	プロジェクト の審査中	791	0			791
販売額 (千円)	計 画	-	7,200	7,200	7,200	7,200	28,800
	実 績	-	0	3,696			3,696
取得経費 (千円)	計 画	2,000	1,900	1,900	1,900	1,900	9,600
	実 績	200	0	0			200
利益 (千円)	計 画	-2,000	5,300	5,300	5,300	5,300	19,200
	実 績	-200	0	3,696			3,496

・認証されたJ-クレジット 224t-CO₂を、8者に販売しました。

・J-クレジットの追加を申請するため、計画地でのモニタリング調査を行いました。

【方針】 引き続き、販売を促進するとともに、モニタリング調査を継続し、J-クレジットの追加認証に取り組みます。